



化管法の対象物質から指定された旧第二種監視化学物質由来の優先評価化学物質

優先評価 化学物質 の番号	名 称	分解性	有害性 クラス	優先度	有害性項目ごとの有害性クラス				有害性評価値(D値) [mg/kg/day]		変異原性
					一般毒性	生殖発生 毒性	変異原性	発がん性	一般毒性	生殖発生 毒性	
1	二硫化炭素	難分解性	2	高	4	3	2		0.124	0.015	化管法変異原性 クラス1
2	ヒドラジン	難分解性	2	中	2		2	2	0.000015		化管法変異原性 クラス1
3	n-ヘキサン	良分解性	4	高		4				0.261486	
4	1,3-ブタジエン	難分解性	1	高	3		2	1	0.0176		化管法変異原性 クラス1
5	イソプレン	難分解性	2	高				2			
6	クロロメタン(別名塩化メチル)	難分解性	2	高	4		2		0.069967		化管法変異原性 クラス1
7	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	難分解性	2	高	3		2	2	0.008		化管法変異原性 クラス1
9	ブロモメタン(別名臭化メチル)	難分解性	2	高	2		2		0.000192		化管法変異原性 クラス1
10	クロロエタン	難分解性	2	高	クラス外		2		2.666667		化管法変異原性 クラス1
13	クロロエチレン(別名塩化ビニル)	難分解性	1	高	2		2	1	0.00002		化管法変異原性 クラス1
14	1,3-ジクロロプロペン(別名D-D)	難分解性	2	中	2		2	2	0.0008		化管法変異原性 クラス1
15	メチルアミン	難分解性	2	高			2				化管法変異原性 クラス1
16	ジメチルアミン	良分解性	3	高	3				0.00736		
18	ニトロメタン	難分解性	2	中				2			
19	エチレンオキシド	良分解性	1	高	3		2	1	0.02416		化管法変異原性 クラス1
20	1,2-エポキシプロパン(別名酸化プロピレン)	良分解性	2	高	2		2	2	0.00116		化管法変異原性 クラス1
21	1,2-エポキシブタン	良分解性	2	中	2			2	0.00192		
22	エピクロロヒドリン	良分解性	2	中	3		2	2	0.007569		化管法変異原性 クラス1
23	エチレングリコールモノメチルエーテル	良分解性	2	高		3	2			0.03125	化管法変異原性 クラス1
25	ホルムアルデヒド	良分解性	1	高	2		2	1	0.001		化管法変異原性 クラス1
26	アセトアルデヒド	良分解性	2	高			2	2			化管法変異原性 クラス1

27	N, N-ジメチルホルムアミド	難分解性	2	高	4	2			0.12	0.0001	
28	酢酸ビニル	良分解性	2	高	3		2	2	0.02		化管法変異原性 クラス1
31	アクリル酸メチル	良分解性	2	高			2				化管法変異原性 クラス1
32	アクリル酸エチル	良分解性	2	中			2	2			化管法変異原性 クラス1
34	アクリルアミド	良分解性	2	中	2	3	2	2	0.005	0.015	化管法変異原性 クラス1
35	メタクリル酸	良分解性	2	高	2				0.00025		
36	エチレンジアミン四酢酸	難分解性	2	高	4		2		0.08		化管法変異原性 クラス1
37	ニトリロ三酢酸	難分解性	2	中	4			2	0.08		
38	アセトニトリル	良分解性	2	高			2				化管法変異原性 クラス1
39	アクリロニトリル	良分解性	2	高	2		2	2	0.00076		化管法変異原性 クラス1
40	チオ尿素	難分解性	2	高		3	2	2		0.035	化管法変異原性 クラス1
43	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	良分解性	2	中	2				0.000004		
45	ベンゼン	良分解性	1	高	2		2	1	0.0012		化管法変異原性 クラス1
46	トルエン	良分解性	2	高		クラス外	2			1.392857	化管法変異原性 クラス1
47	スチレン	良分解性	2	高			2	2			化管法変異原性 クラス1
48	イソプロペニルベンゼン(別名 $\alpha$ -メチルスチレン)	難分解性	2	高			2				化管法変異原性 クラス1
50	エチルベンゼン	良分解性	2	高				2			
51	ベンジル=クロリド(別名塩化ベンジル)	良分解性	2	高			2	2			化管法変異原性 クラス1
52	o-ジクロロベンゼン	難分解性	2	高	4		2		0.24		化管法変異原性 クラス1
53	p-ジクロロベンゼン	難分解性	2	高	3			2	0.03		
54	アニリン	良分解性	2	高	3		2	2	0.007		化管法変異原性 クラス1
55	m-フェニレンジアミン	難分解性	2	中	2				0.0004		
56	o-フェニレンジアミン	難分解性	2	中	2		2		0.0004		化管法変異原性 クラス1
57	o-トルイジン	難分解性	1	中	3		2	1	0.0176		化管法変異原性 クラス1

58	o-クロロアニリン	難分解性	2	高			2				化管法変異原性 クラス1
59	ニトロベンゼン	難分解性	2	中	3	3		2	0.02	0.0075	
60	p-クロロニトロベンゼン	難分解性	2	高	2		2		0.00256		化管法変異原性 クラス1
61	ジニトロトルエン	難分解性	2	中	2	3	2	2	0.0008	0.01	化管法変異原性 クラス1
62	フェノール	良分解性	2	高			2				化管法変異原性 クラス1
65	ピロカテコール(別名カテコール)	良分解性	2	中			2	2			化管法変異原性 クラス1
66	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	良分解性	2	高	2	3		2	0.0024	0.014	
67	テレフタル酸ジメチル	良分解性	2	高			2				化管法変異原性 クラス1
68	テレフタル酸	良分解性	2	高	2				0.000221		
69	1, 2, 4-ベンゼントリカルボン酸1, 2-無水	良分解性	2	中	2				0.00016		
74	メチレンビス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネート	難分解性	2	中	2				0.000092		
76	ナフタレン	難分解性	2	高	2			2	0.00372		
81	モルホリン	難分解性	2	高	3		2		0.0256		化管法変異原性 クラス1
82	ε-カプロラクタム	良分解性	2	高			2				化管法変異原性 クラス1
87	4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物(別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂)(液状のものに限る。)	難分解性	2	高			2				化管法変異原性 クラス1

(参考) 化学物質排出把握管理促進法における有害性の考え方

化学物質排出把握管理促進法では、人健康影響に係る毒性項目、生態毒性及びオゾン層破壊性を有害性の要件としている。人健康影響に係る具体的な選定基準は以下のとおり。

人健康影響に係る選定基準	発がん性	人に対して発がん性がある～疑いが強い(IARCで2B以上)
	変異原性*1	①in vivo陽性、②Ames比活性値1000以上かつ染色体陽性、③染色体D20値が0.01以下かつAmes陽性、④Ames比活性値100以上かつ染色体D20値0.1以下、⑤その他①～④と同程度以上の変異原性を有するもの
	経口慢性毒性	NO(A)EL 0.01 ~ 1mg/kg/day以下(化管法分類クラス1~3)
	吸入慢性毒性	経口毒性と同程度の基準となる吸入NOAEL値
	作業環境	吸入慢性毒性と同程度となるTWA(時間加重平均値)値
	生殖発生毒性	人の生殖能力を害する(発生毒性を引き起こす)～懸念を引き起こす物質
	感受性	気道感受性がある物質あるいは根拠となるデータのある物質

\*1 Ames試験の比活性値の単位はrev/mg、染色体異常試験のD20知の単位はmg/mL。

3省合同審議会(平成21年12月18日開催) 資料2-9『化学物質排出把握管理促進法の第一種及び第二種指定化学物質の一部を化審法第二種及び第三種監視化学物質に指定することについて』より抜粋